

【家庭分野の目標】

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

学習内容(予定時間数)

一学期（11）	二学期（16）	三学期（8）
<p>【4月～5月】 何をどのくらい食べればよいか（2） バランスの良い献立作り（1）</p> <p>※学習ノート、プリント課題で評価</p>	<p>【9月～10月】 魚の調理（2） 野菜・いもの調理（1） 生鮮食品の特徴（2）</p> <p>※学習ノート、プリント課題、実技で評価</p>	<p>【1月】 家族の住まいを安全・安心に（1） 災害への対策（1） 持続可能な住生活を目指して（1）</p> <p>※学習ノート、プリント課題で評価</p>
<p>【5月～6月】 バランスの良い献立作り（2） 生活の課題と実践（1） 日常食の調理（1）</p> <p>※学習ノート、プリント課題で評価</p>	<p>【10月～11月】 加工食品の特徴（2） 食品の選択と購入（1） 食品の保存と食中毒の防止（1） 生活の課題と実践（1）</p> <p>※学習ノート、プリント課題、生活の課題と実践の提出物で評価</p>	<p>【2月】 消費者としての自覚（1） 購入方法と支払い方法（0.5） バランス良く計画的な金銭の管理（0.5） 消費者トラブルとその対策（1）</p> <p>※学習ノート、プリント課題、定期テストで評価 第4回定期テスト</p>
<p>【6月～7月】 日常食の調理（1） 肉の調理（2） 野菜・いもの調理（1）</p> <p>※学習ノート、プリント課題、実技、定期テストで評価</p> <p>第1回定期テスト</p>	<p>【11月～12月】 もしも住まいがなかったら（1） 住まいと気候風土の関わり（1） 健康で快適な室内環境（1） 生活の課題と実践（3）</p> <p>※学習ノート、プリント課題、生活の課題と実践の提出物、定期テストで評価 第3回定期テスト</p>	<p>【3月】 何を考えて決めていますか～意志決定のプロセス～（0.5） 消費者としてできること～権利と責任～（0.5） 省エネルギーと持続可能な社会（0.5） 持続可能な消費生活を目指して（0.5）</p> <p>※学習ノート、プリント課題で評価</p>

評価の観点と規準（各観点の割合はすべて達成率100%で統一する）

評価の観点	評価の方法・資料	評価方法の規準と「概ねB」「満点」などの設定
I <知識及び技能> 各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価するとともに、それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実技 ・プリント課題 ・学習ノート <p>など</p>	<p>※プリント課題、学習ノートは定期的に回収する。自分の考えや意見を記入する場合は、A○は満点、Aは満点に対して9割、B○は状況に応じて7～8割、Bは6～7割、Cは状況に応じて2～5割の配点。未提出の場合は、評価材料なしとみなす。</p> <p>※実技において、調理実習の行動観察（個人・班）で評価を行う。また、裁縫実習は作品の完成度により評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生に必要な栄養量を満たす一日分の献立の立て方について理解している。 ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について、理解しているとともに、適切にできる。 ・家族の生活と住生活との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 ・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 ・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。
II <思考力・判断力・表現力等> 各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント課題 ・学習ノート ・生活の課題と実践の提出物 <p>など</p>	<p>※プリント課題、学習ノートは定期的に回収する。自分の考えや意見を記入する場合は、A○は満点、Aは満点に対して9割、B○は状況に応じて7～8割、Bは6～7割、Cは状況に応じて2～5割の配点。未提出の場合は、評価材料なしとみなす。</p> <p>※生活の課題と実践は、「中学生の一日分の献立」、「家族の安全を考えた住空間の整え方」について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家での課題は、自分の生活がより豊かになるように工夫を考える。

III	<p><主体的に学習に取り組む態度> 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。</p>	<p>[全科目共通]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価 <p>[平常点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、提出物の状況など 	<p>[全科目共通]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。 <p>[平常点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとするかどうかをA～Cで評価する。 ・提出物の期限を守り、忘れ物をしないよう心掛ける
-----	---	---	--